



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

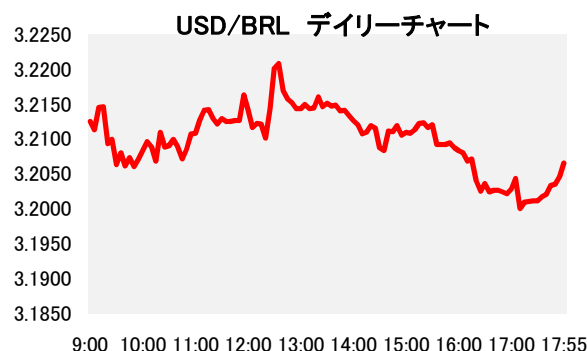
1. マーケット・レート

			10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	10月10日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2580	3.2210	3.2280	3.2210	3.2060	-0.0150
	BRL/JPY	Spot	31.58	32.13	32.21	31.96	32.31	+0.35
	EUR/USD	Spot	1.1204	1.1206	1.1151	1.1201	1.1137	-0.0064
	USD/JPY	Spot	102.90	103.51	103.99	102.98	103.61	+0.63
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.294	13.268	13.228	13.125	13.188	+0.063
	Future	1Year(p.a.)	12.418	12.370	12.288	12.228	12.293	+0.065
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.928	1.907	1.980	2.006	2.009	+0.003
	USD	1Year(p.a.)	2.214	2.088	2.075	2.146	2.129	-0.017
株式	Bovespa指数		59339	60254	60644	61109	61668	559
CDS	CDS Brazil 5y		275.92	274.79	271.43	270.75	270.10	-0.65
商品	CRB指数		187.304	188.782	188.542	188.316	190.278	+1.96

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

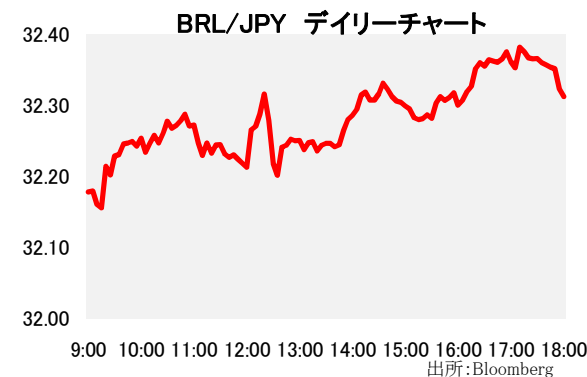
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.13%	0.19%	0.07%
貿易収支(週次)	--	\$499m	\$748m



3. 要人コメント

テメル伯大統領	本日下院で投票される歳出上限法案の採決では少なくとも355名の賛成を予想する。
---------	---



4. トピックス

- 本日は米国祝日のため、リアル相場は動意に乏しい低い展開となった。リアルは3.2140で寄り付き後、本日予定されている歳出上限法案に関する第一次投票が可決されるとの期待感から3.20台半ばまで買い進まれた。正午過ぎに一時的に反落、日中安値となる3.2220を付けるも、原油価格の上昇を材料にリアルは再び買いが優勢となり、引け間際に本日の高値となる3.1990を付け、結局3.2060でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が▲3.14%から▲3.15%に下方修正され、2017年予想は+1.30%に据え置かれた。また、2016年のインフレ率予想は7.23%から7.04%に下方修正され、2016年末の予想為替レートは3.25に据え置かれた。
- OPECは減産合意を正式にまとめられるとサウジアラビアが楽観を示し、ロシアは減産合意が成立すればこれに参加する可能性があることが明らかになったことで、WTI原油先物が急反発、約1年振り高値で引けた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませ。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。